礁での核実験では、広島原爆の一○○○倍とされる水爆「プラボー」が使わ ビキニ被ばくで国家賠償訴訟 米国による五四年三月一日の、太平洋ビキニ環

環礁の周辺では多くの日本漁船が操業していたが、五五年一月、日米両政 第五福竜丸の乗組員二三人が被ばくし、半年後に久保山愛吉さんが死亡し 。二十羽の白い鳩』(一九六〇年、ベン・シャーン)『ラッキードラゴン』シリーズの一枚。掲げられている肖像画は久保山愛吉さん。

府は米国が第五福竜丸の船員らにのみ見舞金を支払い、その後の損害賠償を要

五福竜丸以外の船員らの被ばく量を調査していたにもかかわらず、その文書を 求しないことで合意、日本は調査を打ち切った。今回の提訴は、日本政府が第

一〇一四年まで公開しなかったことを違法として五月九日に起こされた。

ア、ウクライナ危機への介入と フィ政権の暴力的転覆、シリ

両国政府の犠牲者と沖縄県民に

[逢坂秀人]

伝達した。わたしたちは、日米 移設問題は「辺野古が唯一」 かった。安倍は普天間飛行場の 位協定」見直しにも一切触れな

NATOとともにリビア・カダ タンからの撤退を膠着化させ、 争を名目にイラク、アフガニス 中東政策においては、反テロ戦

## 活動家集団

〒113-0033 東京都文京区 小川町企画 本郷3の38の10さかえビル2階 ☎03·3818·6671 FAX03·3818·3199 (郵便振替)00190-0-758235

小川町企画·関西連絡先 ☎080·4700·6461 HP http://www.shiso-undo.jp/ 購読料:年間6,000円 半年3,000円(送料共)

# 迎えた。まるで、広島平和記念 全政府・メディアは歓迎一色で |初めて訪問したオバマを、日 地広島を現職米国大統領として 五月二十七日夕刻、G7伊勢・ 日米同盟強化の「ショー\_

の第一歩が踏みだされたかのよ の演説によって、核兵器廃絶へ 公園におけるオバマの一七分間

かかわらず、日米同盟を「希望 強行突破した張本人であるにも 利用した安倍政権は、戦争法を 任転嫁しG7サミットを最大限 の同盟」と放言し、その強化と 事を書き、冒頭、「被爆地で 刊一面で、論説委員長小松浩は 「真の和解への道」と題する記 っきりと示されている。 "毎日新聞』 五月二十八日付朝

戦後七一年となる日米「和解」 残り少ない大統領職任期となっ を日米合作・共同脚本による 一大ショー」とみるのはわた への演出に躍起となった。これ 和解」賛美の俗論 たちだけであろうか。

めとしたメディアの異様な報道 たオバマの「謝罪」なき広島訪 ぶりには、日本社会の病根がは 問をめぐっての、NHKをはじ だ。(『和解のために』平凡社) み』。それが出合ったとき、歴 るきっかけにもなろう。/『被 その意味で、日米の和解は、日 りあげる。そのことほど、和解 史の和解が可能になると書いた 害者の示す度量と、加害者の慎 本とアジアの和解を改めて考え の名にふさわしい作業はない 化し、ひとつの歴史空間をつく

するため、世界経済リスクに責 またアベノミクスの失敗を糊塗

の前段の箇所で、「歴史を相対 の真の戦後和解への第一歩を刻 る。」と評言した。そして結論 んだという点で、歴史的であ 米国では、広島、長崎への原爆 れている。 かれの思考の根底には、被害者 素である。」と書いた。

国と国の和解の、前提となる要 気。これらはすべて、あらゆる った。度量と寛容。慎みと勇 被害者でもあり、加害者でもあ 、20世紀の歴史の中で、日本は

たことだけではなく、日米両国 『核なき世界』への決意を示し

な歴史を踏まえない俗論がおか が誰を、何故、といった具体的 朴裕河の論を下敷きにして、誰 解」の障害となっているとする が、日本軍「慰安婦」問題「和 と支援者の厳しい責任追及こそ

士の犠牲を最小限に抑えること 投下は戦争終結をはやめ米軍兵

が、いまだに広く信じられてい ができたという「原爆神話.

謝罪」なきオバマの広島訪問

することがとどめの一撃になる 定にもとづいてソ連が対日参戦 条件降伏させるため、ヤルタ協 ったベルリンを解放する。米国 ヴィエト赤軍は、一九四五年五 月、ナチス・ドイツの牙城であ **入統領トルーマンは、 日本を無** 期待していた。

たく不必要」と考えていたにも

かかわらず……。この形容しが

る。もはやソ連の参戦は不要に 初の原爆実験成功の報をうけ に水面下で進行していた米国の ンに対日参戦を確約させること 爪痕生々しいベルリン郊外のポ 参加した主な目的は、スター ツダムでの会談にトルーマン にあった。ところが、その最大 月十五日にはじまった爆撃の

第二次世界大戦末期、熾烈な独 東ヨーロッパ戦線を進撃したソ ソ戦を戦い抜き、破竹の勢いで なった。戦後のソ連の、日本を 敗北しており、軍事的にはまっ も、原爆を投下した。ダグラス ふくんだアジア諸国への影響力 模索していた情報を把握しつつ 本が降伏条件(国体の護持)を を削ぐため、トルーマンは、日 - マッカーサーやアイゼンハワ 元帥ですらも「日本はすでに

一に騙されるな

政府の責任は免れない。

軍部支配体制が、国体護持のた めに無謀な戦争終結を遅らせ、 土決戦」を呼号していた天皇制 東京大空襲・沖縄戦・原爆投下 いっぽう沖縄を捨て石とし「本 圧しつぶされた暗闇の底で 瞬時に街頭の三万は消え (峠三吉『原爆詩集』) 五万の悲鳴を絶え(略)」 あの閃光が忘れえようか

している。

を、常に自覚することから出発 を果たしえていない戦後責任 たいする戦争責任追及と、それ 日本軍国主義による侵略戦争に わたしたちは、そうした戦前の 同様に免れない。

# 「核なき世界」とは

和賞を受賞した。オバマは以 七年前の二〇〇九年、オバマは だ!)。その「未来志向」は信 後、核兵器廃絶の演説とは裏腹 のビジョンを語り、ノーベル平 の核の傘にある日本政府も同様 約) の批准もしていない (米国 CTBT(核実験全面禁止条 兆ドルの予算を承認している。 に、核兵器の近代化とその運搬 手段開発として今後三〇年で 一 フラハ演説によって核兵器廃絶 今回の日米首脳会談において とつき進んでいる。 ら、すべての米軍基地の撤去へ オバマは遺憾の意を表明した

ディアの恣意的な報道によって 地の存在が、問題の根源であ 件があった。沖縄にある米軍基 設に反対する沖縄民衆の声は、 しての感情が横たわっている。 明するなど、沖縄民衆を見下す 研修で、沖縄の世論は「地元メ る。そこには、米海兵隊が沖縄 な女性レイプ殺害、死体遺棄事 納基地の元海兵隊員による残忍 海兵隊の沖縄からの撤収要求か ような「軍事植民地支配者」 色眼鏡で物事を見ている」と説 いま、辺野古・高江の新基地建 に着任した兵士らを対象にした

を提起していた。 トの独立闘争を結びつける課題 望」)と、原爆禁止闘争と占領 本平和擁護運動への批判と展 な把握をも必要とする。」(「日

の強化、日本の戦争国家化に反 対し、反核・反原発のたたかい わたしたちは、日米の軍事同盟 この先駆的たたかいにならい、 断固進めよう。

明確な謝罪もせず「日米地

とすれば、イランの核開発制限 よる仲介支援があってのことで らない。強いて積極面をあげる 争政策は、とどまるところを知 反ロシア政策にみられるその戦 合意があるが、それもロシアに

先送りの怠惰な姿勢を許しては

たいする不誠実な態度と、問題

ならない。

いまから六六年前、ポーラン

化」を許すな

安倍政権の 「戦争国家

同軍事演習を実施し、朝鮮政府 からの休戦協定を平和協定に転 策にもとづき最大規模の米韓合 形成に余念がない。朝鮮敵視政 への挑発と牽制、中国包囲網の と、南シナ海問題における中国 アジアではリバランス政策のも 万的に求める姿勢は、任期内に ではなく「朝鮮の非核化」を 換するようにとの提案を拒否 おける朝鮮問題の解決を困難に 続けている。朝鮮半島の非核化 し、世界のひとびとに核兵器の ための「ストックホルム・アピ 争犯罪人として扱われるべき する」「原子兵器の使用は、戦 不使用を訴えた。アピールは 界平和評議会が、核兵器廃絶の ド・ワルシャワで結成された世 **子兵器の厳格な国際管理を要求** 宣告することを要求する」「原 である原子兵器が違法であると 人民の大量殺戮と恫喝の道具 -ル」(一九五〇年三月)を発

島、そして長崎に投下した米国

たい大量無差別破壊兵器を広

直近では、またしても沖縄嘉手 橋頭保としての役割を押しつけ が沖縄県民に、日米同盟強化の 米軍基地の現状をみると、それ 引き続く施政権返還後の沖縄の 沖縄における米軍の占領支配 ていることがはっきりとわか 講和締結と再軍備反対のため た日本学生運動は、新たな全面 ッドパージ闘争をたたかってい の反イールズ闘争、十月の反レ 署名を集めた。一九五〇年五月 をよびかけ、短時日に五億人の に、このストックホルム・アピ だ」などと述べ、全世界に署名 ールに呼応した平和擁護運動を

の犠牲拡大をもたらした責任も

傾向にたたかいかつためには、 たこと、この歴史的事実の正当 かつてない非人道的行為であっ と、それゆえ、これは世界史上 計画への政治的布石であったこ に至る日本占領とその植民地化 関係であり、八・一五以後今日 ズム統一戦線の戦争目的とは無 広島、長崎の悲劇が、反ファシ 全学連委員長はつぎのように述 画にたいして、当時、武井昭夫 原爆投下を賛美するアメリカ映 べた。「原爆投下の賛美という

# 【今号の主な内容】

〈特集〉元米兵の沖縄 女性暴行殺害事件糾弾! (高嶋伸欣/大館まゆみ) ……2~3面 〈HOWS〉2016年度前期プレ企画・開講講座、盛会裡にスタート!………・4面 〈国際〉朝鮮「制裁」を問う(田沼久男)/論評「オバマ広島訪問の卑劣なねらい」(ペークムヒ)・・・・・・・・・・・ 5 面 〈反原発〉びわ湖一周デモ成功(稲村守)/福島廃炉作業の現場から―池田実さんの報告 ••• 5面 〈紙つぶて特集〉・・・・・フ面/〈文化〉金山明子展をみて(日夏露彦)・書評『リーマンショック以後』・・・・8面

### 『思想運動』 『社会評論』読者拡大実施中

☆『思想運動』『社会評論』を購読される方をご紹介ください。

☆同封の紙つぶて用ハガキにご協力をお願いします。